

みずほCustomer Desk Report 2021/08/05号(As of 2021/08/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	109.07
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.00	1.1869	129.33	1.3912	0.7397
SYD-NY High	109.68	1.1899	129.81	1.3957	0.7426
SYD-NY Low	108.73	1.1833	129.14	1.3886	0.7370
NY 5:00 PM	109.49	1.1837	129.62	1.3891	0.7382
NY DOW	34,792.67	▲ 323.73	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	14,780.53	19.24	日本10年債	0.0040	▲0.60bp
S&P	4,402.66	▲ 20.49	米国2年債	0.1812	1.00bp
日経平均	27,584.08	▲ 57.75	米国5年債	0.6737	2.80bp
TOPIX	1,921.43	▲ 9.71	米国10年債	1.1788	0.57bp
シカゴ日経先物	27,540.00	▲ 145.00	独10年債	-0.4945	▲1.25bp
ロンドンFT	7,123.86	18.14	英10年債	0.5155	▲0.30bp
DAX	15,692.13	137.05	豪10年債	1.1550	1.60bp
ハンセン指数	26,426.55	231.73	USDJPY 1M Vol	5.64	▲0.06%
上海総合	3,477.22	29.23	USDJPY 3M Vol	5.72	0.05%
NY金	1,814.50	0.40	USDJPY 6M Vol	5.90	0.01%
WTI	68.15	▲ 2.41	USDJPY 1M 25RR	-0.49	Yen Call Over
CRB指数	213.516	▲ 1.77	EURJPY 3M Vol	5.99	0.01%
ドルインデックス	92.27	0.19	EURJPY 6M Vol	6.21	0.03%

東京	東京時間のドル円は109.00レベルでオープン。米10年債利回りが低位で推移し、ドル円も上値重い展開となった。一時108.93まで下落するも、108円台では押し目買いも見られ、下値は限定的。米ADP雇用統計前に様子見姿勢ムードが広がっていることもあり、終日を通して値幅20銭の狭いレンジで推移し、結局109.12レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.12レベルでオープン。午後に米指標を控え小動き。朝方ユーロ圏7月PMIの改定値が発表され、ドイツの総合PMIが若干下方修正される中でユーロが売られた反動でドル円は109.23まで上昇。勢いは続かず109.04レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円はニュージーランドの雇用統計が良好であったことからNZD/USDが上昇する動きにドル円は108.93まで下落するが、欧州サービス業PMIが予想を下回ったことからドルが買い戻される展開に109.23まで戻し、109.04レベルでNYオープン。朝方は7月米ADP雇用統計が事前予想中央値の半分にも満たなかったことから、週末の雇用統計に対する悲観的な見方にドル円は108.73まで下落する。しかしNY時間10時に発表の米7月ISM非製造業景況指数が、新規輸出受注、雇用などが前回から改善したことから64.1と予想60.5を上回り、同時に発表されたクラリダFRB副議長の講演の事前原稿で、「利上げに必要な条件は2022年の終わりまでに揃うだろう」、「年末に掛けての資産購入の減速の発表を支持」との見方が示されたことや、その少し前にもブラッド・セントルイス連銀総裁が、「来年のインフレは2.5~3%で推移し、今より下がるだろうが多くの人々が思っている程早いスピードではないだろう」との話したことも材料視され、109.68まで戻す。午後は、109.50付近での推移が続き、109.49レベルでクロスした。一方、ユーロドルは欧州のサービス業PMIの結果を受け1.1842まで下落し、1.1864レベルでNYオープン。朝方は米ADP雇用統計を受けたドル売りに1.1899まで戻すが、続いて発表のISM非製造業景況指数の結果や、クラリダ副議長の講演内容を受け、ドルが一気に買い戻される展開に1.1833まで反落する。午後は1.1840付近での狭いレンジでの推移が続き、1.1837レベルでクロスした。

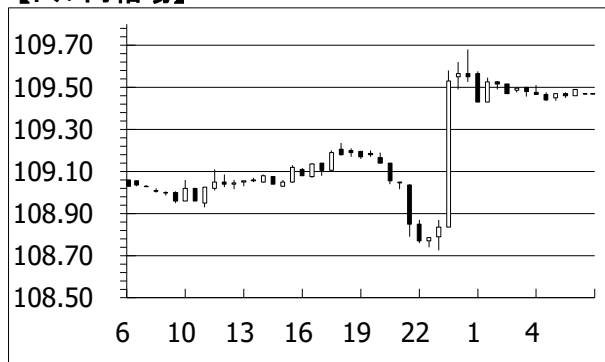
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月4日	10:30	豪 小売売上高(前月比)・確報	6月 -1.8%	-1.8%
	16:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	7月 61.8/62.4	62.2/62.5
	17:00	欧 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	7月 59.8/60.2	60.4/60.6
	17:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	7月 59.6/59.2	57.8/57.7
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	6月 1.5%	1.7%
	21:15	米 ADP雇用統計	7月 330k	690k
	22:00	米 ブラッド・セントルイス連銀総裁 講演	「インフレは一部の人が考えるよりも持続する可能性」	
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	7月 59.9/59.9	59.8/-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	7月 64.1	60.5
	23:00	米 クラリダFRB副議長 講演	「利上げに必要な条件は2022年末までには揃うだろう」	

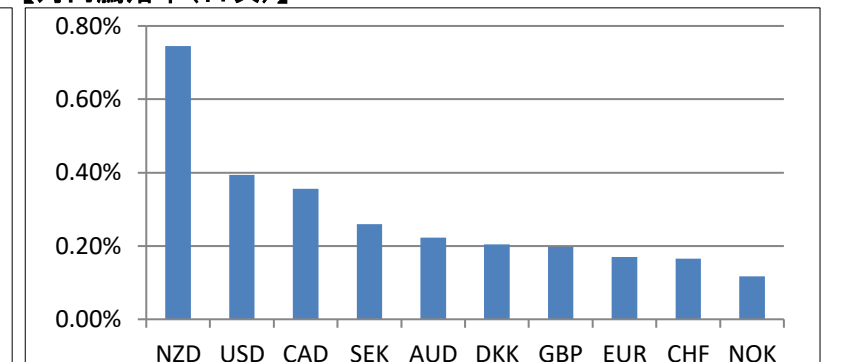
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月5日	10:30	豪 貿易収支	6月 A\$10450m	A\$9681m
	15:00	独 製造業受注(前月比)	6月 2.0%	-3.7%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$74.1b	-\$71.2b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	31-Jul 383k	400k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.10-109.90	1.1790-1.1890	129.00-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上下する展開。しばらくは様子見ムード。海外時間に入り発表された7月ADP雇用統計が予想対比大幅に下回る結果に108.73まで下落。しかし、その後発表された米7月ISM非製造業景況指数の予想を上回る結果や、クラリダFRB副議長のタカ派寄りの発言を要因にドル円は急伸し、一時109.68まで戻す。一巡後は、109.50近辺での推移となった。
本日のドル円は109円台でのレンジ推移を予想。ADP雇用統計は冴えない結果となったが、ISM非製造業景況指数では雇用項目は前回より改善しており、雇用統計に対する期待も高まっている。係る中、雇用統計発表までは様子見ムードとなるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	矢野	加藤	牛島	山岸	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル		15	6